



# Kinder 音楽グルメの会 研修レポート Vol.5

午前『子ども達の音楽活動に便利な教育機器の活用法』 かとう こうへい 先生

午後『幼児が楽しく歌える歌唱指導法』 富澤 裕 先生 (作曲家)

2019年8月3日(土曜日)、大阪国際交流センターにて、教育研究グループ「音楽グルメの会」主催『MUSIC SUMMER SEMINAR 2019』が行われました。今回のテーマは午前の部「子ども達の音楽活動に便利な教育機器の活用法(かとう こうへい先生)」として鍵盤ハーモニカや電子ピアノの活用法、午後の部は「幼児が楽しく歌える歌唱指導法(富澤 裕先生)」でした。1才児、2才児、3才児、4才児、5才児クラスでご指導される、新任の先生から指導年数30年の先生方まで沢山の先生方にご参加いただきました。夏休み明けから実践していきたいとご感想をいただきました。ありがとうございました!

## ♪ 研修のポイント ♪

「自分自身が楽しいと感じながら一緒に歌ったりリズムであそんだりする」を基本に「子どもにどう伝えるか・音楽や指導において何が大切か?」を歌と体の動き・リズム・鍵盤ハーモニカなどで触れ、楽しみながら1日研修にご参加いただきました。

「歌と体の動き」では、歌う前にリズム遊びを取り入れ、音と体の動きに慣れ親しむことで歌いやすくなり、より音楽を楽しめるように歌に合ったリズム遊びをゲーム感覚で行いました。

「リズム」では、拍のとり方・歌い方・テンポ・リズムを子どもたちに伝えることで「音楽とは何か」「楽しい」「わかった!」「できた!」と集中力や面白さを感じられるようになることを実践しました。

これらに加えて、歌詞の意味を考えて「こうやって歌おう」という能動的な姿勢(アクティブ・ラーニング)、「よーし、やってみよう!」と子どもが思うための、指導におけるポイントをアドバイスいただきました。



「鍵盤ハーモニカ」…歌の伴奏やピアノ演奏は、ハードルが高いと苦手意識がついてしまいがちですが、鍵盤ハーモニカのわかりやすい演奏法の研修を行いました。

「主体的・対話的で深い学び」は幼稚園・保育園と、小学校の連携につながる共通点でもあります。講師からは発達段階についても言及され、器楽と歌唱、両方の具体的な指導法を知ることができました。

「今やっていることを絶対に否定しない、足していく、上に積んでいく指導」は、幼児教育にとってとても大切なのだと感じられました。

## ♪ 鍵盤ハーモニカ・電子ピアノご感想 ♪

♪拍をリズム打ちのビート音で流しながら、歌って指導したり、拍を食べ物などの言葉に変えたりすると、分かりやすいと知れて良かったです。

♪キーボードで音を変えたり弾いた音を録音できたりすると分かりました。リズムや音色パターン、色々な機能が知れて、使うことができて良かったです。

♪伴奏に活用できる電子ピアノのレクチャーもあり、使える機器は使い、子どもたちに「音楽って楽しい!」と思って貰えるように保育していこう!と思いました。

## ♪ 歌唱指導法についてのご感想 ♪

♪富澤先生の表現力の豊かさが素晴らしかったです。高い「シ」まで声が出たら童謡はほとんど歌えるのだとわかりました。

♪子ども達に「よーし!やってみよう」と思わせることが大切だと聞きこれからの保育で心がけていきたいと思いました。

♪歌は下手ではない、声って出る!と子どもたちに伝えてほしい。との言葉が印象的でした。

★…音楽グルメの会より…★



「かたつむり」は実は高度な歌で、「そうさん」「おつかいありさん」などにも「リズム」「符点(はずむ)音符」が出てきます。が、「楽しく弾んで歌う」「体の中の時計を感じて」「リズム感を意識」などの声かけにより、わかりやすく、普段の会話のように、ワクワクしながら表現できると思いました。「アンパンマンのマーチ」は元気に生き生きと歌い、「いちねんせいになったら」は小学校への期待感・一歩進むイメージで1拍目と3拍目のリズムを強くとりなめらかに進めて歌う、「小さな世界」はリズムや伴奏でタテ・ヨコノリをペアで感じ目を見ながら歌い、合唱の入口となるハーモニーの面白さを感じるなど、選曲も発達段階に合わせていました。

新しい生活様式、予防の観点から、ペアになり歌うことが難しい昨今ですが、「その教材が持っている面白さ」の解釈を身に付けるには、この指導法を活かして曲を聞きながらリズム打ちや鑑賞するというアイデアもあります。

## ♪ 研修会1日を通してのご感想 ♪



♪“楽しい”の意味が分かる研修でした。自分も楽しまない子どもたちに伝わらないということは分かっていたのですが、どうしたらよいのか分かりませんでした。今回はとても分かりやすく、実践してみたいです。

♪音楽の楽しさを味わうことができました。どんな子どもでも好きになれるような内容で、遊びの延長線からはじまっていてやってみたいと思いました。

♪音楽が今までよりももっと好きになりました。今までは教えることに重点をおきすぎていたけれど、子どもたちが楽しむこと、まず、そこからがとても大切なのだと、当たり前のことですが、改めて気づかされました。

♪音楽とは何かという原点に戻った話で、日々忘れがちなことを改めて感じ考えていく研修でした。楽しく子どもたちに伝えていくことで楽しく保育が行え、音楽の感性を自然と子どもたちが身につけられると思いました。

♪子どもたちの中に「できない」という文字がないというのは、本当にその通りだと思いました。子ども自分自身からやりたいという気持ちを引きだし、これから音楽と一緒に楽しみたいです。

※2020年夏期音楽教育講座「MUSIC SUMMER SEMINAR2020」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止いたしました。「Kinder 音楽グルメの会」は、幼稚園・保育士の先生方を対象にした教育講座を開催してきました。ホームページには過去の研修レポートを掲載しております。 <音楽グルメの会 >